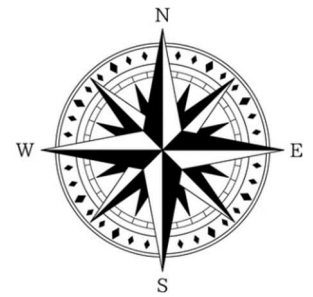


# らしんばん 羅針盤



R5. 6 藤枝特別支援学校進路課だよりNo.3

文責：齋藤

## 高等部3年生 集中作業・産業現場等における実習の報告

高等部3年生は5月22日(月)～6月2日(金)まで集中作業、6月5日(月)～6月16日(金)の2週間を基本として、産業現場等における実習(職場実習)を実施しました。

今号では、3年生の集中作業、職場実習の様子についてお知らせします。

### <集中作業の様子>



顆粒だしを5本ずつ袋詰め  
の作業です。ただ入れるので  
はなく、入れる向きやテープ  
を貼る位置にも決まりがあり  
ます。丁寧な作業が求められ  
ます。



洗濯ハンガーの組付けの作  
業です。ラジオペンチを使い、  
専用の金具を洗濯ばさみやフ  
レームに取り付けます。長時  
間手先の力を使い作業するこ  
とが必要です。



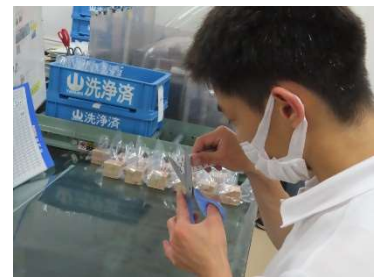
CDを解体し、ディスクや  
歌詞カードなどに分別しま  
す。資材を割らないよう気を  
付けるとともに、分別したも  
のの置く位置を決めておくこ  
とも大切です。

集中作業では、地域の企業から資材を借りて作業をします。実際の資材を借りて作業することで、「自分の仕事(作業)が社会のために役立っているんだ!」「だからこそ頑張ろう!」という達成感や成就感などを得て、よりよい勤労観を養うことにつながります。

今回高等部3年生にとってこの集中作業は、就職のかかる「勝負の実習(職場実習)」の準備段階として大事な2週間でした。ミスを出さないことは当然のことで、「これまでの自分を超えよう」を合言葉に、作業スピード・質を上げて、企業の方に納品したときに納得してもらえよう集中して作業に取り組み、職場実習に臨みました。

集中作業期間中、私が作業室である調理室を通るときに、休憩中の3年生がいつも元気のよい挨拶をしてくれました。人から信頼されるためには挨拶やマナーなどの態度面も重要です。何気ない挨拶から、今回の集中作業や職場実習にかける3年生の思いがひしひし伝わってきて、とても清々しい気持ちになりました。

## <職場実習の様子>



職場実習を終え、実習先の企業や事業所からいただいた評価の一部を紹介します。

### 【成果】

- 礼儀正しく自社の社員と接することができていた。
- 素直な受け答えをすることができていた。
- 手を抜かずに仕事に取り組むことができていた。
- 一度指示されたことを間違えずに作業することができていた。
- 事業所で行う作業を家で練習するなど、向上心をもって取り組んでいた。
- 利用者さんの誰にでも優しく接することができた。(介護業)

### 【課題】

- 普段の声（あいさつ、返事）の音量をアップすること。
- 初めて任される作業に対して、不安な気持ちを表情や態度で出してしまったこと。
- 休憩中と作業中の切り替えをすること。
- メモをとる習慣をつけること。
- 作業スピードを上げること。
- イレギュラーな場面でもコミュニケーションをとれるようになること。
- 清潔を保つこと。

企業や事業所から評価されるのは、作業能力だけでなく、周りと上手にコミュニケーションをとる力や最後までやり抜こうとする力などの「非認知能力」であることが分かります。このことは学校生活だけでなく家庭生活でも意識できることです。学校と家庭が両輪となり児童生徒を支えていくことが大切となります。

高等部 3 年生は次に行われる職場実習が最後になります。卒業後の進路が決まるよう、今回の実習の結果を受け止め、課題を克服できるよう準備していきます。